

技術協力分野マトリックス

課題	関心事		手段	障壁	活動/優先事項	支援	
	学習	共有					
国際的に通用する各国資格認定制度。アジア地域内各国間での資格・技能の相互認定。認定の有効性を確保するための質の保証制度。	技能・資格の相互認定の達成	全ての国	フィリピン、オーストラリア、ニュージーランド、タイ	ワークショップ、技術支援、フェロースhip	資金	<p>1：質の保証・地域内認定の広範な文脈における資格認定に関する技術ワークショップ。情報収集・分析・普及に始まり、主要主題を掘り下げるための技術ワークショップが続く段階的なプロセスにより、地域内認定枠組みを開発するための基礎を築く。</p> <p>2：上記1で扱う具体的な主題（質の保証に関連して）としては：訓練者の新たな技能、学習への新たなアプローチ（ソフトスキルを提供するコーチング、メンターリング等）。</p> <p>3：テストと審査のアプローチに関するワークショップ（後に）</p>	オーストラリア、ニュージーランド、タイ、フィリピン、シンガポール、インドが支援の可能性を示している
	各国資格認定枠組みをどのように開発するか	ベトナム、バングラデシュ、ソロモン諸島、モンゴル、インドネシア、キリバス、インド、マレーシア	オーストラリア	ワークショップ	資金		
	地域内資格能力基準(アジア)	全ての国	全ての国	ワークショップ、技術支援、フェロースhip	資金		
	移民労働者の技能認定	オーストラリア、イラン、ラオス、インド、アフガニスタン、バングラデシュ	オーストラリア	IOM等の専門機関と情報・経験・専門知識の面で関連づける	機関相互の協力が必要		
	資格の訓練、認定、相互認定に関する国際的なベンチマーク（基準）	全ての国	全ての国	モデルの入手、他国のアプローチの評価、三者パートナーの意見、一時調査への支援と視察旅行の前の査定、改革、開発プログラムを支援する為の資金提供、コンサルタンシー（質の高いコンサルタントへのアクセス）、二国間協定	コンサルタントの質、資金、初期的政策調査作業を行う能力、問題を多くの場合、二国間で取り扱うこと。		
	各国資格認定枠組み	全ての国	全ての国				
	訓練提供者及び達成資格の質の保証	全ての国	全ての国				
各国に持続的に技能開発事業が存在すること。堅固	民間部門の職場における訓練をどのように推進し、開発するか	全ての国	タイ、マレーシア、地域内の使用者	ワークショップ	資金提供へのインセンティブ	ILO トリノセンター	
	低開発国での訓練施設の改善への支援	バングラデシュ、ソロモン諸島、インドネシア、キリバス、モンゴル	マレーシア、フィリピン、タイ	訓練、ワークショップ	ドナーからの支援が必要		

技術協力分野マトリックス

な資金提供、使用者への財政支援、訓練アプローチと訓練者の技能の継続的な再活性化。	技能開発への使用者と民間部門の関与	スリランカ、ヴァヌアツ、ラオス、ソロモン諸島	全ての国	地域内の良慣行に関する情報の提供 (インドの IMC、パキスタンの SD 協議会、インドの CII 等)	訓練計画への資金提供		
	技能開発への資金提供	全ての国	全ての国	ILO 資料を用いた訓練プログラム	訓練を組織するための資金		
	新しい分野・内容・提供方法に向けた訓練						
	訓練者の技能-新しい、有効なアプローチの利用	ソロモン諸島		職場、民間部門等、訓練の場所に関連する。方法、指導者の訓練などの情報入手。			
訓練が現在と将来に渡り、国内外の雇用需要に合致するよう、利用可能な労働市場情報その他の機構を整える。	学生、使用者の需要、及びより長期的には、国内外での雇用の需要への関連性をもたせること。			他国の技能・資格能力要件の情報入手。専門家の交流、関連性を確保するために各国がとってきた手段に関する情報(訓練評議会、部門別協議会等、及びそれらの評価)。	労働市場情報は全事項への答えではなく、詳細や時間の経過によっても必ずしも正しいとは限らない。労働市場情報が存在しないところに構築するには高い費用がかかる。	2: 労働市場のニーズに関する各国単位でのデータを編纂・提供するとともに、毎年更新する。 3: 各国が労働市場情報システムを改善するための技術支援。 3: 需要メカニズムを供給決定と結びつける経験についての調査。一連のアプローチに対する結果。	オーストラリア ネパール、カンボジア、スリランカ、シンガポール、韓国
特定集団の技能開発を確保するための実効的なアプローチ: 同様な、あるいは補完的な状況にある国の間での情報とモデルの移転	職業訓練におけるジェンダー平等の欠如	全ての国	フィリピン、タイ、マレーシア、バングラデシュ	良慣行指導書を開発に向けたワークショップ	資金	2: 既存の調査・研究・モデルの照合・普及。 2: 要望があり、資金が得られる国で追加的にパイロット/実証事業を開始する。	SKILLS-AP 及びネットワーク諸国からのインプット
	特別に対象となる集団	全ての国		TREE、EEOW(女性向け)等、アプローチの情報共有	CBT(コミュニティベース)の訓練は費用がかかる	2: 適切な場合に、機能しているモデルへの視察旅行を行う。	
	女性、若者、高齢労働者、過渡期にある労働者、熟練・未熟練の移民労働者、インフォーマル・農村労働者等、特別集団の技能開発を確保する有効な手段。課題にはアクセス、実現可能なキャリア/職務助言、学習の立地(仕事の場及び仕事の前)が含まれる。	ニュージーランド、ネパール、日本、スリランカ、ソロモン諸島		既存の報告書・研究を利用しやすいよう「消化」して提供する。w-w、e-eでの意見交換を促進する。共通の関心を持つ専門家集団の形成を促進する(労働力の高齢化が進む国、移民労働者を抱える国等)。	戦略的な課題/集団を優先し、政府以外の見解を求め、討議に含める。国によって専門能力の流失、資金調達(外国からの支援へのニーズはその問題に関心を示す国の集団に左右される)言語の壁が情報入手を妨げていることなど。	1: ウェブサイトへのアクセス及びリンク。	SKILLS-AP

技術協力分野マトリックス

課題		関心事		活動/優先事項	障壁	活動/優先事項	支援
		学習	共有				
ソフトスキル	新しい技能分野であるソフトスキル-カリキュラムの開発と基準の設定。新分野には、起業、ライフスキル、リーダーシップ、実務的な仕事への期待への関連を含む。	全ての国	全ての国	開発中の訓練モジュールの交換、コアスキルの地域的枠組みと実施のためのアプローチの選択肢を開発する。	訓練モジュールの主体性	2：リーダーシップと起業に関する使用者主導のワークショップ。 1：エンプロイアビリティ技能の測定可能な資格能力の地域全体の枠組み策定に向けた取り組み。まず調査と会議により、エンプロイアビリティ技能の理解について合意し、次に資格能力の定義へと進む計画。 3：働く人々の生涯学習を促進するための実践的な方法についての調査。	地域内使用者団体、ACT/EMP、インドネシア オーストラリア、使用者 ニュージーランド
小国	(国民の)数の少ない国々でどのように訓練を促進するか	ニュージーランド、キリバス、ソロモン諸島	タイ	調査ワークショップ	ILOの促進	2：大-小国間での国別の支援パートナーシップの促進 2：関心と資金があれば、コミュニティベースのパイロット訓練を行う。 2：技能開発への戦略的アプローチの研究、その他の事例(カリブ海諸国)	大国：中国、マレ0 四ア、インド 小国：ソロモン諸島、キリバス
移入・移出する移民労働者の訓練に資金提供をする政策	移入・移出する移民労働者の訓練に資金提供をする政策			どのように資金を埋め合わせるかについての政策の交換、例えば送金政策。			